

協議結果一覧

資料5-2

<非稼働病棟を有する医療機関への方針>

○病床過剰地域に所在し、以下のいずれかの条件に該当する病院に対して、国通知に基づく対応を進める。

① 病床の開設許可後（新規開設、変更許可含む）、1年経過後においても、稼働していない病棟を有する病院

② 5年以上、稼働していない病棟を有する病院

○非病床過剰地域に所在するが、上記①又は②のいずれかの条件に該当する病院に対しては、各地域の地域医療構想推進委員会において説明するよう求め、地域医療構想推進委員会は医療審議会（医療体制部会）に意見を報告する。なお、医療審議会（医療体制部会）において意見を付された病院は、その意見を踏まえた対応に努めるものとする。

構想区域	医療機関名	開設許可病床数 (一般及び療養)	非稼働病棟について		非稼働開始時期 (通算年数)	非稼働の主な理由	今後の予定 (時期)	推進委員会の意見
			条件	病床数				
名古屋・尾張中部	野垣病院	99	②	39	2006年4月 (19年)	看護師不足	再稼働予定 (2027年4月)	必要性がある (理由) 非稼働病棟の再開に向けた取組が着実に進んでおり、2027年4月に確実に再開することが見込まれるため。
知多半島	公立西知多総合病院	468	②	45	2015年5月 (9年)	医師・医療従事者不足	再稼働予定 (時期未定)	判断がつかない(継続協議) (理由) 2026年度中を目的に方針案の策定を進めていることから、次年度の地域医療構想推進委員会において改めて方針について説明を求めます。
知多半島	小嶋病院	240	②	120	2017年1月 (8年)	施設の老朽化	再稼働予定 (2026年5月)	必要性がある (理由) 非稼働病床のうち80床については2026年2月に再開済み。残りの40床については、2026年5月に確実に再開することが見込まれるため。
知多半島	国立長寿医療研究センター	383	②	38	2004年3月 (21年)	施設の老朽化	再稼働予定 (時期未定) ↓ 廃止予定 (2026年度中)	必要性が乏しい (理由) ヒアリングを実施した結果、2026年度中に廃止予定である旨説明があったため。
西三河南部西	刈谷整形外科病院	80	②	20	2015年4月 (10年)	入院患者の減少	再稼働予定 (時期未定)	必要性がある(ただし、継続協議) (理由) 再開に向けた取組を進めており、医療機関の努力も認められ、地域としても再開を望んでいるため、必要性がある。ただし、職員増員数等の確認を要することから、次回の地域医療構想推進委員会において、看護師等の採用状況に関する説明を求めます。
東三河南部	豊橋医療センター	388	②	50	2018年3月 (7年)	医師・医療従事者不足	再稼働予定 (2026年度)	必要性がある (理由) 非稼働病棟の再開に向けた取組が着実に進んでおり、2026年度中に確実に再開することが見込まれるため。
東三河南部	豊橋ハートセンター	130	②	45	2013年6月 (11年)	移転予定	再稼働予定 (時期未定)	判断がつかない(継続協議) (理由) 病院の移転地が未定であるため、次年度の地域医療構想推進委員会において、進捗状況の説明を求めます。